



## 〈本多隊員〉

新年、明けましておめでとうございます。絵本クリエイターの本多です。

2023年は卯年！ということで、うさぎ好きとしては何となく嬉しいところ。良い一年になることを願います。

道北日報さんの元旦号、表紙のイラストを描かせていただきました。見てくださった方もいらっしやるのでしょうか。

最近は年賀状を出す人も減ってきていて寂しいところではありますが、自分にとっては年賀状を描くことが一年を締めくくる大仕事。今年は4図案描き下ろしました。

2023年となり、協力隊としての残りの任期も短くなってきました。ここでしかできないこと、今やるべきこと、またここに来たばかりの時に思い描いていたことを見つめなおして、充実した日々を過ごしたいと思います。今年もどうぞよろしく願いいたします！



## 〈中田隊員〉

いよいよ本格的に雪が降り始めた11月後半、牧場では冬に向けた準備が着々と進んでいます。

夏の間、山頂ドライブで活躍していたオープンカーやカートは別の場所へ運び、代わりにスノーモービルの搬入を行いました。

雪が積もり次第、エアボード体験が始まりますので、是非冬のアルパカ牧場にも遊びに来てくださいね！

話は変わりますが、令和4年9月に「だるま落としのとんでんくん」が牧場にやってきました！役場の方が、使われなくなっていた「とんでんくん」を見つけ、牧場の方で使えないかと連絡をくれました。

昔は剣淵のお祭り？で使用されていたとのこと、懐かしい方もいらっしやるのではないのでしょうか？

今後は牧場の様々なイベントで活躍してもらおうと思っています！！



## 〈吉野隊員〉

明けましておめでとうございます。いかがお過ごしでしょうか。

年末・年始とたくさんのケーキ・オードブルのご注文本当にありがとうございました。

今月号は、昨年のクリスマスケーキを飾ったポインセチア型の「ラングドシャ」生地のお菓子についてご紹介します。ビスケットやクラッカー、クッキーにラングドシャなど、区別が付きにくいお菓子はいろいろありますよね。お口の中で、どれも水分が欲しくなるお菓子という点は共通していますが・・・

ラングドシャとはフランスを代表する伝統的な焼き菓子で、フランス語で猫の舌という意味があります。見た目はクッキーですが、猫の舌のように表面がザラザラしています。クッキーは材料に卵黄を使うのに対し、ラングドシャは卵白を利用し生地を薄くして焼き上げます。北海道を代表するお菓子のひとつ「白い恋人」はチョコを挟んだラングドシャです。基本は材料が同分量で出来ますので、お菓子作りの入門編としてオススメします。アレンジもしやすいですよ。ご質問などいつでもご連絡くださいませ。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

